

市鍼だより

令和7年8月 第1号



[目次]

ごあいさつ	那須賢士郎	2
定時社員総会報告	牧原 敏治	3
活動方針並びに事業計画	那須賢士郎	4
鹿児島マラソン 2025 報告	田之上誠弥	7
鹿児島マラソンボランティアに参加	新吉 南李	8
ありがたい、はりきゅう補助事業	右田 善信	9
学術研修会報告	吉村 章治	11
施術所訪問記(第 11 回)	牧原 敏治	13

一般社団法人 鹿児島市鍼灸マッサージ師会

ごあいさつ

会長 那須賢士郎

盛夏の候、時下ますます清祥の段、お慶び申し上げます。平素は本会の事業に対してご理解ご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

昨年度の事業内容としては、敬老奉仕活動・鹿児島マラソンのボランティア活動、新年会を実施することができました。

今年度も様々な活動を予定しておりますので、ご報告いたします。9月には敬老奉仕活動を実施予定です。今年度もコロナウイルス感染防止の観点から、施設でのマッサージを行うのは難しいかもしれません、福祉センターなどの奉仕活動を考えております。

高齢者の皆様の元気につながるような取り組みをしていきたいと考えています。10月には鹿児島健康まつりのボランティア活動に参加します。1月には新年会を開催する予定です、会員同士がゆっくり交流できる場にしたいと思っていますので、ぜひご参加ください。3月には鹿児島マラソンのボランティア活動に参加します。参加するランナー皆様に対し安心して大会にいどめるよう、マッサージによるサポートを行い、マラソンを安全かつ快適にしていただけけるよう努めます。

はり・きゅう施設利用券に関しては、今年度も現状維持を確保できました。この状態がいつまでも続くように、日頃から施設利用券の維持を念頭に取り扱っていただけたら幸いです。

最後に、皆様お一人おひとりの健康とご活躍を心よりお祈り申し上げます。

令和7年度 定時社員総会報告

事務局 牧原敏治

令和7年4月20日（日）、かごしま県民（カクイックス）交流センター 東棟3階中研修室第2にて、鹿児島市鍼灸マッサージ師会定時社員総会を開催致しました。

当日の会員出席者は20名で、50名の委任状が有りました。これらを合わせると70名となり、会員数94名の半数を超えており、定款第3章（社員総会）18条（決議）により、総会は成立致しました。

また当日は、下鶴市長ご名代 鹿児島市南部保健センター所長新小田雄一様、当会の顧問で鹿児島市議会議員の池山美月先生、そして県鍼灸マッサージ師会会長の大勝孝雄先生にご臨席頂きました。



総会は、下記の次第に則り進められました。

- ① [出席者確認]
- ② [開会宣言]
- ③ [先輩物故者への黙祷]
- ④ [表彰] 昨年、鹿児島市【技能功労者賞】を受賞された、有馬智志先生と【青年優秀技能者賞】を受賞された中村みゆき先生に、当会より顕彰者として感謝状を贈呈致しました。
- ⑤ [会長挨拶]
- ⑥ [来賓挨拶] 新小田雄一様、池山美月先生、そして大勝孝雄会長より祝辞を頂きました。
- ⑦ [議長、副議長選出] 議長は川畑裕人先生に、副議長は森本 誠先生に務めて頂きました。
- ⑧ [議事]
【令和6年度報告事項】イ、会務並びに事業実施概況報告 口、

一般会計収支決算報告 ハ、監査報告 【審議事項】ニ、令和 6 年度に係わる報告事項の一括承認の件 ホ、令和 7 年度の活動方針並びに事業計画案及び収支予算案の承認の件 ヘ、その他 鹿児島市保険鍼灸師会の右田善信会長より 5 月 18 日(日) 鹿児島市保険鍼灸師会総会への参加の呼びかけがあり、また同会の有馬智志先生より会費の早期納入のお願いがありました。ト、役員改選任期満了により、役員改選を行いました。選挙管理委員には議長、副議長を努めて頂いた川畠裕人先生と森本誠先生に、引き続き務めて頂きました。【理事】に立候補した重任 7 名は、会場の満場一致で承認を得ました。那須賢士郎(重任)、上ノ園高行(重任)、吉村章治(重任)、川崎史絵(重任)、田之上誠弥(重任)、中村みゆき(重任)、牧原敏治(重任)【監事】に立候補した重任(永田泰彦)と新任(前川敬子)の 2 名も、会場の満場一致で承認を得ました。⑨ [閉会宣言]

以上、総会の報告をさせていただきます。

活動方針並びに事業計画

※ 活 動 方 針

- 1、事務局=組織の拡充を図り、会員相互の連携を深め協調力を高めよう。
- 2、総務部=会務の円滑な運営を図り、上部団体との協調並びに対外との交流に努めよう。
- 3、経理部=会費の速やかな徴収を図り、各種事業の円滑な推進に努めよう。
- 4、学術部=会員相互の学技の練磨並びに治療家としての資質向上に努めよう。
- 5、情宣部=会員相互の連携を深め、三療の普及や情報収集に努めよう。

- 6、事業部＝会員相互の連携を深め、啓発に努めよう。
- 7、業権部＝会員の自覚と協力を求め、業権の擁護・拡大に努めよう。

※ 事 業 計 画

「1」事務局

各種会議の開催

- ア、総 会 4月 20 日(日)
- イ、理事会 4月 20 日(日)・7月 19 日(土)・ 11月 15 日(土)・
令和 8 年 2 月 21 日(土)
- ウ、五団体懇話会 令和 8 年 1 月 18 日(日)
- エ、監査会 4月 1 日(火)
- オ、HP コンテンツ会議 第 3 土曜日/毎月
- カ、ネット会議 不定期

その他

- ア、鹿児島市健康づくり推進市民会議総会 8月未定
- イ、鹿児島市技能功労者賞・青年優秀技能者賞受賞式 11月未定

「2」総務部

かごしま市民すこやかプランの推進
業態別・一般健康診断(いきいき受診)の促進
入退会・住所変更などの手続き、関係各所への報告

「3」経理部

会費の徴収、各種帳票の記帳、各種事業の支出に対しての管理

「4」学術部

学術研修会の開催 6月 22 日(日)

「5」情宣部

市鍼だよりの発行 8月・令和 8 年 3 月

ホームページの活用 内容の充実を図り、わかり易さに努める。

- ア. HP コンテンツ会議の開催 第 3 土曜日/毎月
「6」事業部
啓発活動の促進
- ア、敬老奉仕活動の実施 9月 14 日(日)
イ、その他 市民健康まつり 10月 12 日(日)
菜の花マラソン 令和 8 年 1 月 11 日(日)予定
霧島市健康福祉まつり 令和 8 年 2 月未定
鹿児島マラソン 令和 8 年 3 月 1 日(日)予定
- 親睦会の開催
- ア、新年会 令和 8 年 1 月 17 日(土)
- 「7」業権部
違法行為の監視強化
- ア、ホームページを活用し、市民が施術を受けやすい環境作りに努める。
イ、厚生労働大臣免許保有証の所持の促進に努める。
- 《令和 7 年》
- 4 月 1 日(火) 監査会
4 月 20 日(日) 定時社員総会・第 1 回理事会
5 月 18 日(日) 鹿児島市保険鍼灸師会総会
6 月 22 日(日)学術研修会(県の第 2 回生涯研修会)
7 月 19 日(土)第 2 回理事会
8 月上旬 “市鍼だより” 第 1 号発送
8 月未定 鹿児島市健康づくり推進市民会議総会
9 月 14 日(日)啓発活動(敬老奉仕活動)
10 月 12 日(日)鹿児島市健康まつり
11 月 15 日(土)第 3 回理事会
11 月未定 鹿児島市技能功労者賞・青年優秀技能者賞受賞式
- 《令和 8 年》
- 1 月 11 日(日) 菜の花マラソン 予定

1月17日(土) 新年会
1月18日(日) 五団体懇話会
2月未定 霧島市健康福祉まつり
2月21日(土) 第4回理事会
3月1日(日) 啓発活動(鹿児島マラソン) 予定
3月下旬 “市鍼だより” 第2号発送

鹿児島マラソン2025報告

業権部 田之上誠弥

日 時 令和7年3月2日（日）10時～15時
場 所 鹿児島中央公民館
参加者 県鍼師会21名 鍼灸師会4名 看護師8名 学生12名
計45名
施術人数 223名

3月上旬にしては気温も上がり、寒暖の差も激しく、よりランナーのコンディションに気をつけなければならぬ状況下での開催となりました。ミーティングを終え、10時半頃からファンランを終えたランナーが入室し、12時を過ぎたあたりから前者とフルマラソンを終えたランナーの対応となりました。

比較的緩やかな流れの中で対応できましたが、前年度より施術人数も減少、もう少し来てもらえて良いのかな、という印象でした。理由として、場所が分かりづらい、待機場所から距離がある、前年は開催されていた公民館前でのブースが無かった、といったものが挙げられました。

個人的にはランナーの方々と交流ができたり、普段はあまり無い状況での施術を体験でき、たいへん勉強になりました。反省や経験を今後に生かしていきたいです。

鹿児島地区参加者 14 名

大勝孝雄・北村公貴・清水大樹・新吉南季・竹ノ内幸弘・
田之上誠也・富永雅幸・那須賢士郎・西川保洋・東 直樹・
福田慎悟・牧原敏治・村上 大・森本 誠



鹿児島マラソンケアボランティアに参加して

会 員 新吉南季

3月2日に開催された鹿児島マラソン 2025 でケアマッサージのボランティア活動を行って来ました。

例年この活動は、(公社)鹿児島県鍼灸マッサージ師会、第一リハビリ専門学校鍼灸科の皆さん、看護師の方々と合同で携わってきました。

今年は朝から既に気温が上がり始め、急激な温度上昇でランナーにとって大変過酷なものだったと思われます。そのため、脚の引き攣りが非常に多かったのが印象的でした。

ケアについては、鍼(パイオネックス)とマッサージを受けていただき、大変喜ばれておりました。

ゴール後のランナーは足の痛みや臀部・腰部痛の軽減を希望さ

れる方が多かったです。施術後は軽くなった・楽になったと嬉しいお声をいただけたり、外国人ランナーの方々とマッサージで繋がることが出来たりと貴重な経験ができました。その反面、体調の悪い方を安全かつ迅速に対応し、大勢の方を対象に気を配ることの大変さなども感じました。マラソン後の身体の状態を直接お聞きする機会はあまりないので、スポーツと普段の施術とのアプローチの違いを感じとても良い刺激となりました。ボランティアにご参加なさった皆さんのご協力のもと、事故無く終えることが出来ました。来年の鹿児島マラソンでは更に多くの方々に触れ、参加して良かったと感じて頂けるよう、サポート・ケアしていくことが出来たら良いなと思います。皆さん大変お疲れ様でした。



ありがたい、はりきゅう補助事業

鹿児島市保険鍼灸師会 会長 右田善信

会員の皆様方の治療費に関しては様々だと思いますが、協定料金は1術2000円、2術2700円でと決められています。但し、マッサージや特殊施術を行う場合には患者に納得していただき超過料金を請求させていただいています。

最近はパソコン、タブレット、携帯など同じ姿勢で仕事やゲームを長時間にわたり利用する方が多くなりました。長期間続きますと頸部痛、肩背部痛の原因となっていました。1時間おきに体操をすることで疲労を防げることができますが、それに没頭しているといつの間にか3時間を超過してしまい疲労から過労に移行してしまうこともあります。ましてや入院することにもなりかねません。その前に、はりきゅう治療を施すことで回避できます。

鹿児島市民がはりきゅう補助事業を利用されるようになって52年です。国民健康保険加入者ではりきゅう補助を受けられる方は、自営業者の方や後期高齢者75歳以上の方です。この制度を積極的に啓発活動していただき、市民の健康増進に貢献していきましょう。

はり、きゅうは怖いと言われた方が、今は信者になって継続治療をされています。また、病気になられた医師がいろいろ西洋医学を試したが、東洋医学でと来院されて2年以上もお付き合いしています。症状が少しずつ改善され、治りはしないが現状を維持できればそれでいいですと言われます。はりきゅう治療を医師の方々にも理解していただいて東西両輪で患者と向き合えたら素晴らしい世界が広がるに違いありません。

さて、近年地球規模の変化により地震、森林火災、豪雨災害等が身近に感ぜられるようになりました。災害に巻き込まれた方々は途方もない失望感に襲われています。災害復興に国、県、市が一丸となり取り組んでいますが、インフラ整備に何年もの時間がかかります。仮設住宅ができるまでの間は学校の体育館などで仕切りを作り、家族のプライベートを何とか確保しながら、集団生活をされているようですが、心理的なショックはすぐには立ち直れません。その体調不全の治療に、はりきゅう、マッサージが有効であると思います。

もし鹿児島に災害が発生したとき一人でも多くの方に手を差し伸べられるよう、はりきゅうで生きる希望を与えられるような工夫をしていきましょう。

学術研修会報告（第2回生涯研修）

学術部 吉村章治

令和7年6月22日（日）カクイックス交流センター（かごしま県民交流センター）4階大研修室第4にて、学術研修会（第2回生涯研修）を開催いたしました。（会場参加者49名 ZOOM 8名）

講師は、大阪康祐堂あけぼの漢方鍼灸院 院長 富田 祥史（とみた よしふみ）先生を御招きました。演題「YNSA（山元式新頭鍼療法の実践」で講演していただきました。

午前は、YNSA理論、午後は、実技を指導していただきました。講師の富田 祥史 先生は、一般社団法人 山元式新頭療法 YNSA 学会事務局長をもされておられます。

先生は、大阪の医療法人（外科病棟、回復期病棟、デイケアなど、スタッフ300名以上）にて東洋医学部門の責任者を10年間務めた後、実家の漢方薬局の2階にて脳神経疾患専門の康祐堂鍼灸院を開業されたそうです。

今回、講演してくださったYNSA（山元式新頭鍼療法、山元新頭皮鍼灸）は、宮崎県の医師・山元 敏勝 先生が1973年頃確立した鍼灸治療法で、頭皮に鍼を刺すことで、全身のあらゆる症状を改善する手法で、特徴として下記を唱っています。

- 1, ツボが少ない
- 2, 適応がわかりやすい
- 3, ツボの発見が容易である
- 4, 誰が行っても同じ治療法であり一定のルール、プロトコルが決まっている
- 5, 治療効果が高い



適応疾患として YNSA は幅広い症状に有効とされ、特に以下の疾患で注目されています。

- ・中枢神経疾患：脳梗塞・脳出血による麻痺、片麻痺、パーキンソン病、脳障害。
- ・痛み：腰痛、肩こり、膝痛、頭痛、関節痛、がん性痛、帯状疱疹後神経痛。
- ・神経症状：めまい、耳鳴り、しびれ、自律神経失調症、うつ病、パニック障害。
- ・その他：頸関節症、ドライマウス、冷え症、円形脱毛症、関節リウマチ、メニエール病。

実際、パーキンソン病や脳梗塞後遺症患者の施術記録ビデオを見せていただきましたが、患者さんの症状の改善ぶりに、会場からどよめきが出ていました。

また、海外での評価が高くドイツ、ブラジル、アメリカなど 14 カ国以上で医療に導入されているらしく、ドイツでは一部疾患で保険適用、ブラジルでは山元医師の名を冠した病院が国費で設立されているそうです。

午後の実技では、実際に症状のある方をモデルに臨床していただきました。

モデル A さん女性は、頸部の疼痛で手技を受けられました。施術後は、疼痛がなくなったと、非常に喜んでいらっしゃいました。また、聴講者全員には、実際の基本的な診断と基本治療を指導していただきました。

今回は、YNSA の初級的な内容との事でしたが、非常に充実した講演でした。



「施術所訪問記」（第 11 回）

吉田麓（フモト）鍼灸治療院

取材：牧原敏治

取材日：2025 年（令和 7 年）7 月 25 日（金）

住所：〒891-1302 鹿児島市 東佐多町 2153

TEL. 099-295-2557

吉田麓鍼灸治療院 松元健一 先生

吉田麓鍼灸治療院は、鹿児島蒲生線の【吉田麓交差点】（県道 25 号線と県道 57 号線が繋がる T 字路の交差点）の近くにあります。吉田から向かって、この交差点のすぐ手前右側にクリーニング店があります。そのすぐ先の細い道を右側に 300m 程進むと、左側の石垣の上に治療院の看板があり、すぐ先には幼稚園があります。入り口を入れると左側に先生達が生活されている母屋があり、その敷地の奥に治療院の建物があります。



先生は、高校の教師をされていたお父様と看護師をされていたお母様の間に、1964 年（昭和 39 年）12 月に三人兄弟の長男として誕生されました。現在 60 歳でいらっしゃいます。

高校卒業後は福岡にある大学に進学され、少林寺拳法の部活にも参加していました。部活で拳術を修得するのは勿論ですが、合谷・三陰交・風池などや背部俞穴のツボを用いた身体の養生法についても学ばれていて、これが現在の東洋医学の職業へ進む一つのきっかけにもなったそうです。

大学卒業後は、日本全国に大型店舗を展開していた大手スーパ

一の会社に就職されて、最初は鹿児島市、次に北九州市、そして福岡市の店舗に勤務されていました。鹿児島市の店舗では奥様との出会いがあり結婚されました。立ち仕事で体力も使う仕事だったので腰を痛めてしまい、その治療を受けている時、鹿児島に鍼灸マッサージを学べる学校があると聞かれました。この時自分でもこの職業に就こうと決心され、9年間勤められた会社を辞めて鹿児島鍼灸専門学校（以降、鹿鍼と表記）へ進学されました。

鹿鍼には31歳で入学されましたが、クラスには18歳から60歳前くらいまでの同級生がいて、またそれまで就かれていた職業もさまざまで、個性豊かな人々と出会うことができて、とても楽しかったそうです。また空手部（錬心館空手）にも参加されていました。そして1999年（平成11年）3月に卒業されました。



鹿鍼卒業後は2年間の病院勤務を経て、現在の所で開業されました。また40歳過ぎから近くの病院で週5日程、1~2時間のマッサージに行かれています。ここでの患者さん達とのふれ合いが、自分の治療院への来院者拡大にも繋がっているそうです。

先生の治療形態は＜経絡治療＞で、問診・腹診・脈診をして証を立て、【本治法】の以下のようなツボを中心に触り、鍼灸の施術を行います。【肝虚は】曲泉穴・陰谷穴【腎虚は】復溜穴・尺澤穴【肺虚は】太淵穴・太白穴【脾虚は】太白穴・太陵穴。その次に、【標治法】の施術で、出ている部位の症状を鍼灸マッサージの施術を行い緩和して行きます。標治法では、紫雲膏（シウンコウ）を使ったお灸をされる事が多いそうです。お灸は、免疫力・抵抗力を向上させることができるので、特に年寄りの治療の最後には、足三里への施灸を心がけておられるそう。私も取材の最後に、先生から施術を受けさせて頂き、先生の丁寧な治療を実感させていただきました。



現在、草牟田の鍼灸マッサージ師会館では、毎月 1 回、日曜日【東洋はり医学会鹿児島支部】による勉強会が行われています。ここでは、脈診流経絡治療を学んでいます。先生は、この勉強会に以前 5 年間参加されていました。この時に学ばれた事が先生の現在の治療に役立っており感謝されているそうです。

先生の治療院に来られる患者さんは、2 割が男性 8 割が女性の方で、高齢の方が多く 80

歳代 90 代、中には 102 歳の方もいらっしゃるそうです。そのため治療する時には、強い刺激を避けてなるべくいい加減で優しい施術を心がけておられます。また急性の腰痛であまりにも強い痛みのある人は、圧迫骨折の疑いが大きいので、病院に行って診断を受けてもらってから治療を受けに来て頂くようにされています。鍼の施術で以前は、置鍼を何本もされていましたが、現在は複数の置鍼はされていないそうです。これまでのコロナ禍に関しては、様々な影響があり、売り上げも減りましたが給付金なども貰えて何とか治療院を継続できており、今では人生に一度あるかないかの経験としては良かったと思われているそうです。

【診療時間】

月～土：午前 8 時～午後 7 時

<休診>日曜日（祝日は営業）

正月は 1 日～3 日（年末は 31 日まで営業）

お盆は通常通りに営業

【治療形態】

経絡治療（問診・腹診・脈診をし、証を立てて治療）

[本治法] と [標治法] による治療

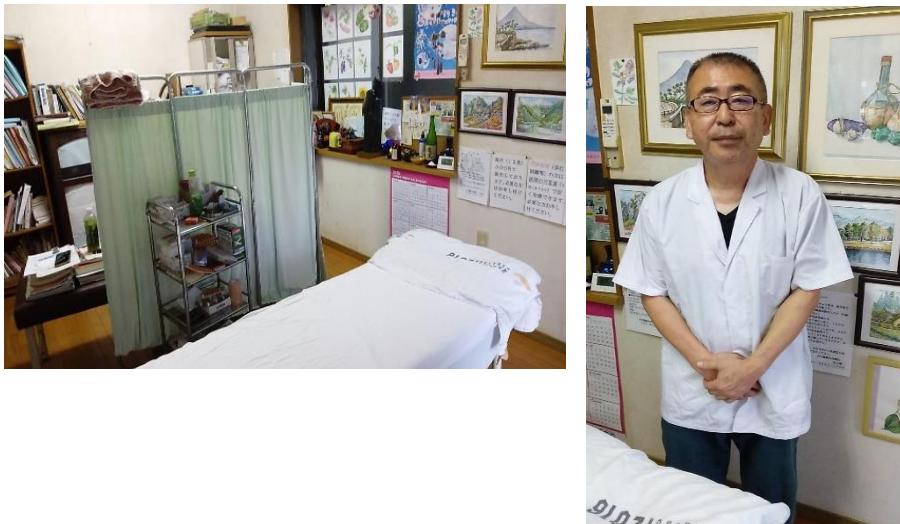
【治療時間】

治療院…30 分以内、60 分以内

往診…30 分

先生は当会に入会直後より、保険の審査委員を続けられている中、2年後からは県の師会の役員を以下のように現在まで務めて来られました。広報部長2年間、総務部長10年間、会長4年間、財務部長4年間、財務1年4ヶ月など、そして3年前からは、政治連盟の役員もされております。これまでこのような役職の活動を通して、歴代の会長をはじめたくさんの方々よりご指導や協力を頂いて、経営のやり方、財務的な状況の把握、人の動かし方などいろいろと有意義な事を修得されて來たそうです。

先生は、48歳の時に脳出血で4ヶ月間入院されました。発病直後は右手が思うように動かせず、記憶力も減退し思考力に混乱が生じました。幸いにも病状が軽微で済んだのか、その後のリハビリなどの効果もあり、右手の動きも完全に元通りとまでは言えなくとも、現在では日常生活に支障を來す事も無く通常通りに回復されました。発病当時は、周りの人々の助けもあり、先程記したように県の師会の会長職も4年間無事に務められております。



現在仕事以外では、毎日夕方20分程家の周りの散歩をされているそうです。周りには田園地帯、遠くには山並みや川などの自然豊かな風景が広がっています。趣味としてはスポーツ観戦が好きで、特にMLB（メジャーリーグベースボール）に出場している

大谷、山本、今永、鈴木、千賀、ダルビッシュ選手などに注目されているそうです。こう言った話しほは、患者さん達との話題作りにも役立っているそうです。現在二人の息子さん達も社会人となられ、これからは今の仕事を究めながら続け、身体が動く限り最後まで頑張って行けたらとおっしゃっています。

県のホームページの最初の立ち上げは、先生が中心となりご尽力されたそうですが、自分は IT 関係に疎いとおっしゃっています。現在、市や県が LINE や ZOOM などをいろいろと活用してくれているので、とても便利になって助かっているとのことでした。

今後も IT の活用を発展させて進めて行って欲しいとのことです。



発行所 (一社) 鹿児島市鍼灸マッサージ師会 情宣部
(公社) 鹿児島県鍼灸マッサージ師会館内
〒 890-0015 鹿児島市草牟田町 8-4